

プリキンダーガルテンをご支援くださっている皆様

主のみ名を賛美いたします。

2019年度はサイクロンによる壊滅的な被害を受けてからのスタートの年となりました。現地の窮状にお寄せ下さった皆様のお祈りとご支援を、心より感謝申し上げます。施設の修復工事もほぼ完了いたしました。

ようやくスクールの活動が再スタートした矢先、世界中を震撼させたコロナ禍にインドも直面しています。モハンティ師にインタビューいたしました、インドの近況をご報告いたします。又コロナ禍に伴い、会計監査時期が遅くなり、皆様へのご報告が遅れてしまいました事を、心からお詫び申し上げます。

2020年7月15日

プリキンダーガルテンスクール里親の会
世話人会代表 松本素代美

1 インドの現在の社会状況

インドの感染者数は世界3位。しかし、地域によっては医療施設等不備なため、陽性患者数や死者数の実数の把握が出来ていなく、実体は更に多い。

産業や交通機関・施設等が4カ月に渡りロックダウンされ、政府による経済支援の救済措置がなく、失業者数が増大し都市から出稼ぎ労働者が故郷へ帰還している。

貧困の最低ラインを下回る人には麦・レンズ豆など国が支給。しかし事前登録していない者最低ラインを超えている貧しい人・中流階級以上の人には救済措置はない。

2 プリ市及びスクールに通学する生徒の家庭状況

オリッサ州外で働いていた約700万人が失業のため帰還し、更にこの数は増加している。観光地プリはロックダウンが続き、観光客の姿もなく市中は閑散としている。

生徒たちの保護者のほとんどが、日雇い・運転手・ホテル労働者・家政婦などのため失業し、多くの家庭では、政府支給物資だけが頼みの綱である。1日1食の家庭もあり、生徒たちは経済的困窮の中に置かれている。

3 スクールの現在の活動状況

生徒たちの栄養不足を補うため、栄養食品・乳飲料等を各家庭に配給している。

スクールは閉鎖しているが、学用品を各自に配布し、日曜日以外教師たちはスクールで待機し、保護者へ勉強の教え方の指導や授業のための準備記録作業をしている。生徒に勉強を教えることができない保護者のため、人の手配などをして、生徒が毎日必ず学習する体制を整えている。8月には1学期のテストを各家庭や、スクールで5組単位での対面式で行う予定である。8月にはスクールが再開できる希望があるが、私たちは希望を持って、この状況が改善されることを願い、再開までこの方式を継続していく。

(2020/07/13 翻訳：エイカーズ愛 文責：松本素代美)